

スクールカウンセラー便り

令和7年 2月
鷺塚 小学校SC

この1年の間にみなさんは、授業でたくさんの言葉を見たり聞いたり、おぼえたりしたと思います。心理学の世界でもいろんな言葉があるのですが、わかりやすさナンバー1なのが、「社会的てぬき」。意味は、「みんなで同じ作業をすると、『他の人がやっているから、自分がやらなくても大丈夫だろう』と思う人が何人か出てくる。それで、みんなでやったわりには、成果が出ない」ということです。みなさんの学級活動とか、そうじとかは、そんなことないですよ！？

お子さまの成長に生かす ころの知識



～ あの人なぜ、〇〇するんだろう ～

心理学の世界では、ふだんの生活でだれでも経験しそうな、「自分も、そういうことあるある」に、わざわざめんどくさい言い方をしがちです（なので、「社会的てぬき」という言葉は、超レアです）。

例をあげると、「こうい者－観察者バイアス」。これは、「他の人（Aさん）が、よくないことをしているのを見かけると、Aさんの性格とか、やる気に問題がある」と、ついつい思ってしまう、だれでも持っている「心のクセ」のことです。…この説明でも「なんのこっちゃ？」ですね。

たとえば、みんなで作業しないといけない時なのに、「かつひさ君」は、ぼんやりふらふらしてる。他の人から見れば、「かつひさ君は、自分勝手だなあ（性格）」とか、「なまけものだなあ（やる気）」と、ナチュラルにそんなふうに思えて、腹が立ったり、仲良くする気がなくなったりしてきます。

でも、実はかつひさ君は、「やり方がわからなかった」とか、「お腹が痛かった」とか、「心配ごとがあった」とかの理由で、作業に加われなかった可能性もあるのです（みなさんも、悪気はないけど〇〇しちゃった、××できなかったということ、ありますよね）。そして、もしそういう理由だったら、何かやさしい声をかけたり、「まあ、しょうがない」という気持ちになったりするかもしれません。

まとめると、「①人間の心は、他の人のよくないところを、性格ややる気のせいにして、イヤな気持ちになりやすい」「②他の理由も思い浮かべると、イヤな気持ちを減らしやすい」。心理学のマニアックな言葉はソッコーで忘れてもらって大丈夫ですが、中身はぜひおぼえて欲しいなと思います。



《ご利用について》

- ◆ ご相談をご希望の場合は、コーディネーターにお申し出のうえ、ご予約ください。ご相談が可能な日時につきましても、ご確認ください。
- ◆ お話しくださいました内容は、秘密厳守いたします。お気軽にご利用ください。